

科目名	レクリエーション演習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格必修 公認障がい者指導員資格必修 保育士資格選択			
<b>授業概要</b> レクリエーション演習Ⅰでの学びを踏まえたうえで、想定した対象者への実践を通してレクリエーション支援者としての基本技術ならびに支援方法を学ぶ。							
<b>到達目標</b> ○対象者に応じた支援の方法を修得する。 ○対象者に応じたレクリエーション活動のアレンジの方法について理解する。 ○対象者・目的に応じた様々なレクリエーション活動を活用した指導案が作成できる。			<b>成績評価方法</b> 受講態度・レポート・レクリエーション指導案作成提出による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度					○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			20
演習	○	○	○	○	○	○	30
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 乳幼児に合わせたアレンジ方法①							
2) 乳幼児に合わせたアレンジ方法②				グループワーク			
3) 児童・障がい児（者）に合わせたアレンジ方法①							
4) 児童・障がい児（者）に合わせたアレンジ方法②				グループワーク			

5)乳幼児を想定したレクリエーション支援の体験①	
6) 乳幼児を想定したレクリエーション支援の体験②	
7) 乳幼児を想定したレクリエーション支援の体験③	グループワーク
8) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の体験①	
9) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の体験②	グループワーク
10) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の体験③	
11)指導案作成①	
12) 指導案作成②	
13) 指導案作成③	
14)指導案作成④	
15) 指導案作成⑤	
授業外学習	
・授業の一環として、地域の子どもや障がい児(者)と関わる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・資料配布 ・「レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かす理論と技術」 (日本レクリエーション協会)	レクリエーション概論・レクリエーション演習Ⅰ・レクリエーション実習
備考	
・運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等各自で心がけること ・グループ活動が多いので欠席はしないように気を付けること	